

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスおおまち		公表日		2026年 2月 6日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・活動によっては二部制で活動を行い、スペースにゆとりをもって取り組めるようにしています。 ・余暇の時間も仕切りを作り、過ごしやすい環境を作っています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5		・手厚い支援が提供できるように人員配置をしています。	・専門職【OT・PT・ST】の療育を取り入れること。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・その時の子どもの様子、伝達事項があればすぐに職員全員が周知できるように伝えられています。また、LINEWORKSなどで漏れないように共有しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・毎日の清掃と消毒を徹底し、オゾン発生機を設置し除菌・除臭をしています。 ・安心でき、心地よく過ごせるよう環境を作りをしています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・クールダウンが必要な時や、静かに過ごす空間作りに配慮しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		・職員間で話し合いや振り返りを行い業務改善や、目標を達成するためにどのようなことをしなければいけないか追加事項を確認し、全員で取り組んでいます。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・評価や意向を把握し、意見を出し合い、改善に努めています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・毎日のミーティングや、個別面談を行い情報伝達や意見を出し合い、検討・改善に繋げています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	・現在は利用者（保護者）・事業所の評価となっています。関係機関や他事業所の方に来て頂き外部の視点や、意見を聞く機会を設けています。	・第三者による外部評価は、今後の検討課題としていきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・毎月の法定研修や、外部研修を積極的に受講している。受講内容を共有し支援の幅が広がるように努めています。	・専門性を高める研修を積極的に受講していく。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		それぞれのプログラムが、五領域と連動し、目標達成に向けて取り組めるように、支援プログラムを作成しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		ニーズや課題を分析し、必要な支援や目標達成への取り組みについて整理し、実施しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1	子どもの様子や特性を踏まえたうえで、職員間で話し合い、より良い支援に繋がっています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		計画内容を共有し、計画に沿って支援をしています。支援方法などはその都度話し合い改善しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	標準化されたツールや、日々の観察また、保護者・学校と連携をとりながら、アセスメントを行っています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		ガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」に基づき必要な支援とねらいを明確にし取り組んでいけるよう設定し支援を行っています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		ミーティングを行い活動内容を職員全員で共有し、個々に合わせたサポートの仕方、役割をチームで行っています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		新しい活動を取り入れたたり、繰り返し行い、達成感を感じられるような活動など、毎月プログラムを作成しています。		

の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		少人数や個別で取り組む活動・集団で取り組む活動を組み合わせた内容を計画書に作成後、達成のため職員全員で取り組んでいます。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		活動についての進行、役割など決め個々に合った内容で取り組めるように話し合い準備をしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		支援の振り返りが当日難しい時は、翌日振り返りをしています。子どもの様子や気付いた点・改善策を共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		その日の様子と支援の内容を分かりやすい言葉で記録をとり、ステップアップや改善に繋げています。	
	23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		モニタリング前に、保護者の方にニーズ・意向などのアンケートに記入してもらい、そこに基づきモニタリングや今後の計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		ガイドラインに基づき複数の基本活動を取り入れながら、楽しく取り組む中で、成功体験を積み重ね自己肯定感を高められる内容に工夫しています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		言葉でのコミュニケーションを主に、自己選択ができるように話しをしています。また、絵カードを使用し自己発信を促し、選択・表出の場面を作っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		管理者・児童発達支援管理責任者が参加しているが、事前にどのような課題があるか職員間で話し合っています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		医療・障害福祉・保育・学校などに、連携をとれる体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		保護者や学校に協力していただき、下校時間・行事の把握をしています。送迎時に必ず子どもの様子を確認しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		保育所などにアセスメントに記入していただき、継続した支援が行えるように工夫しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		要望があれば、支援内容・情報の提供をしています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		場合によっては、発達検査や知能検査を受けた場合、検査報告書を保護者同意の下共有しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5		現在は交流の場を設けていません。	今後、引き続き、地域の参加できる行事を探していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		管理者・児童発達支援管理責任者が参加しています。その後フィードバックしています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		連絡帳や送迎時に保護者の方に様子を伝えている。必要に応じて個別に相談の時間を設けています。子どもの成長一緒に喜び、更なる課題に共通理解が持てるようにコミュニケーションをとっています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	研修や講演の案内など配布し、興味を持っていただけるように案内をしています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		分かりやすい言葉を使いながら丁寧に説明するようにしています。不明な点・変更がある場合は随時説明するようにしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		保護者の意向や本人との関わりや様子から必要な支援を計画書に記載し、ニーズに応えた支援計画を作成しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		放課後等デイサービス計画を説明し、理解していただいたうえで同意のサインを頂いています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		悩みや相談があった場合には、職員間で共有し、面談や訪問などで助言など行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2	今年度は会社行事が重なり、毎年開催の行事ができませんでしたが、外部講演会、事業所外での作品展参加をお誘いし、参加していただきました。	今年度は会社行事が重なり、バザー作品展の開催はできませんでしたが、今後もバザー作品展・保護者参加の行事を行い保護者同士の関わりが持てるよう、作品を通して交流の場を持てるようにしています。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情などがあった場合には、丁寧な対応に努め、整備・対策を迅速かつ適切に対応していくように努めています。苦情受け付け、解決担当者は重要事項説明書に記載し、契約時に説明しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		毎月写真や文章を載せた通信を発行し、活動内容や子ども達の日頃の様子を知って頂けるように工夫しています。	Instagramの更新を随時発信できるようにしていきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報の取り扱いには外部への流出が内容に職員で周知徹底しています。写真などの掲載も保護者に承諾を得て使用しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		子どもには、聴覚・視覚から、情報が入るように工夫しています。保護者に対しても理解に繋がるよう一人ひとりに合った言葉を選択し情報伝達の工夫をしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		消防訓練に参加して頂き、子どもとの関わりも深めて頂くなどして、来て頂きやすい環境作りをしています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		法人内での委員会を設置し訓練・検証・見直しを行い、その都度対応方法など職員間で確認しながらマニュアルを更新しています。また、実施後、通信などで保護者に共有を図っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		BCPに沿った研修・訓練をしています。避難手順・避難経路を必ず子ども達と確認し、訓練に真剣に取り組んでいます。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		服用状況、てんかん発作などの情報をアセスメントの際にお聞きし、職員間で共有しています。利用時の薬の服用は、服薬書に保護者に記入して頂いています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		事前にアレルギーを確認しおやつを提供しています。アレルギー対策の必要な子どもには、保護者の意向に沿った支援をしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全管理に必要な安全計画を作成し、必要な研修や訓練に取り組んでいます。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		安全計画に基づき、取り組み内容について、通信で保護者にお知らせしています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハットは再発防止策を検討し、法人全体で共有し、直ちに対策を取れるようにしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待防止の研修や、リスクマネジメント委員会（身体拘束適正化委員会）を定期的に開催し、虐待に関する知識や意識を高く持ち、適切な対応が取れるようにしています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		身体拘束を、やむを得ず行う際について、保護者に理解していただいた上で、計画書に記載し了承を得ています。リスクマネジメント委員会（身体拘束適正化委員会）で身体拘束の必要性などを検討する場を設けています。		

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				回収数		
放課後等デイサービスおおまち		令和8年2月6日				30名	26名	
		利用児童数				回収数		
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	1		2	十分なのかよくわからない。	基準以上の面積を確保しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	24	1		1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24			2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25	1				
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	26					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25			1		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25			1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24			2		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25			1	季節に合わせてイベントもされていて楽しみにしています。	
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	1	4	18			
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25			1		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24		1	1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20	1	2	3		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	26					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	2	2		助言はしていますが、面談の時間はありません。	必要に応じて面談を行っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	4	2	5	15		
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	2		1			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	22	1	1	2	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	25		1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24			2	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25			1	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	26				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	26				活動を楽しみに通っている。
	29	事業所の支援に満足していますか。	26				大満足です。